

悲願の初出品から日本一の快挙へ



串間市・黒木松吾さん
出品牛 まみ511



串間市・岩下信さん
出品牛 つみえ221



日南市・鳥越春枝さん
出品牛 たまこ3



串間市・吉田正彦さん
出品牛 きくみ2の2



串間市・鎌田秀利さん
出品牛 串雅留美

日本一になり、また広報紙に載るといふ約束を果たせました (鎌田)

10月25日～29日にかけて、長崎県佐世保市で開かれた全国的な和牛の品評会『第10回全国和牛能力共進会』（主催・全国和牛登録協会）。

前回覇者の宮崎県が今大会でも全9区分中5区分で全国1位となる優等賞主席を獲得。

このうち、1区分で最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。

また、都道府県ごとの総合順位を決める団体賞でも1位に輝き、見事連覇を果たしました。

審査を見守る技術員。緊張が走る。



思いをひとつに。

それぞれの思いを胸に。故・徳井忠敏参事の写真と高千穂の仲間から贈られたお守りとともに。



日本一決定の瞬間。引き手を務めた次男・信也くんを見つめる岩下信さん。



最終審査。厳しい視線が注がれる。

串間市初の出品で日本一の快挙

「序列が決定されました。第4区優等賞主席、宮崎県」
場内アナウンスが流れると、観客席からは大きな歓声が沸き起りました。南那珂の牛が『日本一』の栄冠を手にした瞬間です。和牛畜産農家にとっては夢の舞台『全共』。50年の歴史の中で、ただの一度も出品がかなわなかった南那珂の牛が、悲願の初出品で全国一の快挙を成し遂げました。

第4区は同じ系統をくみ、同じ地区で育った雌牛4頭を1組として出品する区分。4頭が同じ特長を持ち、斉一性に優れていなければ出品できない最難関区です。南那珂地区は種雄牛『美福10』の系統で揃えました。串間市の黒木松吾さん（福島地区・木代）、岩下信さん（北方地区・羽ヶ瀬）、吉田正彦さん（本城地区・小田代）がそれぞれ1頭を出品。日南市・鳥越春枝さん出品の1頭と意思をひとつに全共に臨みました。

審査では体積の豊かさ、かつ品位ある身体つきで他を圧倒。会場からも「さすが宮崎」とため息がもれるほど。背中から尻にかけて真っ直ぐに伸びる体上線、骨締まりの良さなどが4頭ともに美しく揃い、高い評価を受けました。

最高の栄誉『内閣総理大臣賞』受賞

同じ種雄牛を父に持つ雌牛4頭と肉牛3頭の混成7頭1組で出品する第7区にも串間市の鎌田秀利さん（本城地区・崎田）が肉牛1頭を出品。肉牛は今大会から脂肪交雑（サシ）の入りに加え脂肪の質も評価の対象となり、厳しい審査となりました。鎌田さん出品の肉牛群は抜群の成績を収め、同区肉牛の部で1位を獲得。優れた肉質に贈られる『肉質賞』も受賞しました。同区種牛群は最高賞の『内閣総理大臣賞』を受賞。栄えある栄誉は、ともに第7区で優れた成績を収めた肉牛群にも贈られました。

今回の全共では、串間市から出品した4頭の和牛すべてが優等賞主席を獲得する快挙。南那珂の畜産は優れた牛を生産する能力、そして優れた肉質に育てる能力があることを全国に向け、広く発信しました。